



社会福祉法人
佐久穂町社会福祉協議会

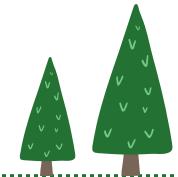
地域で支える 新しい「あし」のかたち ...

佐久穂町社会福祉協議会 片井、松本、古屋

ボランティア 萩原さん



佐久穂町とは



佐久穂町は、長野県の東部、南佐久郡の北部に位置し北は佐久市、西は茅野市、南は小海町と北相木村、東は群馬県に接している。総人口は減少を続けて、2025年時点で1万人、高齢化率は40%となっている。小海線（電車）が町の中心部を南北に結び、東西は高原地帯で標高が高いため、車での移動が主となっている。

佐久穂町	
面積	188km ²
人口	約1万人
人口密度	50.9人/km ²
平均年齢	52.2歳
高齢化率	40%
地区数	53
学校	小学校2校 中学校2校



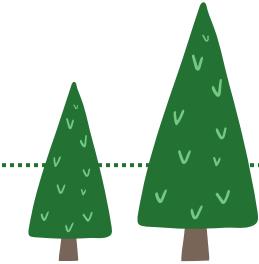
佐久穂町の移動・外出資源について



町内を移動する手段は、小海線（電車）、げんてる号（デマンドタクシー）、福祉有償運送、タクシーのみ。特に、げんてる号に乗れない方の支援や、町外病院への外出、地区内サロンへの外出など、オレンジ色部分が資源不足となっている。

体の様子\エリア	地区内 (徒歩圏内)	町内 (げんてる号が利用不可)	町内	町外
長い距離歩ける	歩行	小海線（沿線のみ） タクシー	小海線（沿線のみ） げんてる号 タクシー	小海線（沿線のみ） タクシー
近所は歩ける 車の乗降は自分でできる		タクシー	げんてる号 タクシー	タクシー
げんてる号の乗降場所 まで歩けない 車の乗降は自分でできる		タクシー	タクシー	タクシー
屋内歩行はできる 車へ乗降は見守りか介助	福祉有償運送 通院等乗降介助	福祉有償運送 通院等乗降介助	福祉有償運送 通院等乗降介助	福祉有償運送 通院等乗降介助
移動や乗降に介助が必要	福祉有償運送 通院等乗降介助	福祉有償運送 通院等乗降介助	福祉有償運送 通院等乗降介助	福祉有償運送 通院等乗降介助

団体立ち上げまでの歩み



2004年～2023年 生活支援体制整備 ふれあいサポートの開始

2024年7月 ふれあいサポートの継続が難しくなる

2025年1月～3月 住民向け 移動外出支援会議を全2回開催

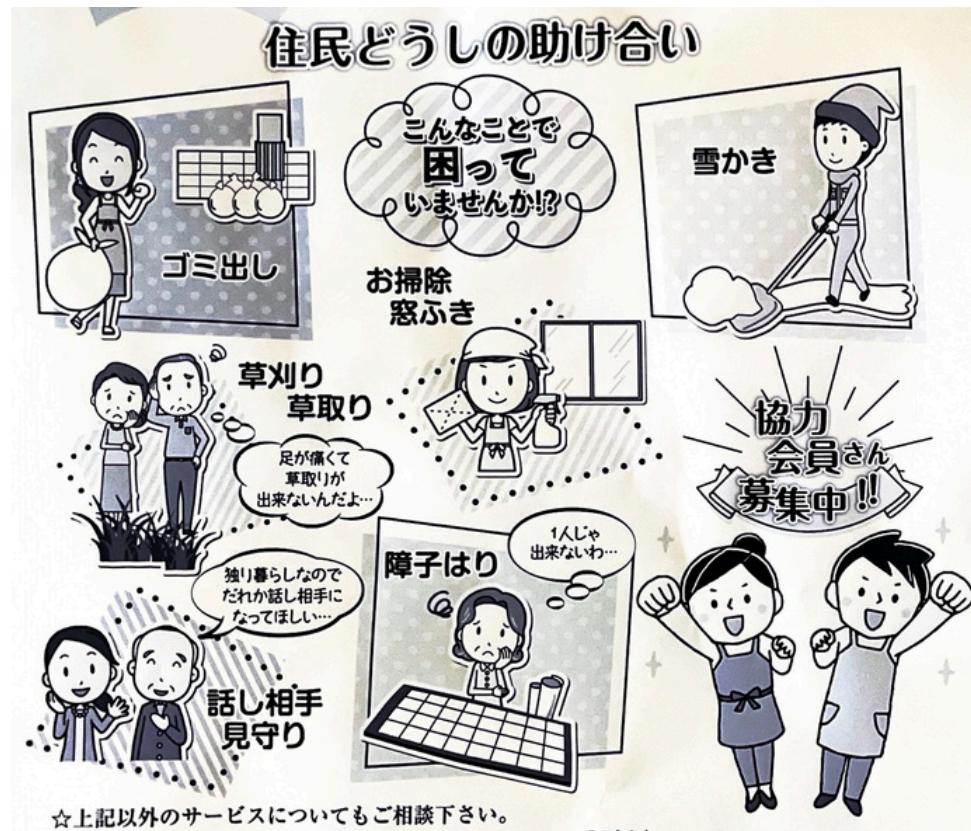
2025年9月 支援者向け 移動外出支援会議の第3回目を開催

2025年12月 支援者にて顔合わせ&団体立ち上げ会議

2004年～2023年 生活支援体制整備 ふれあいサポートの開始



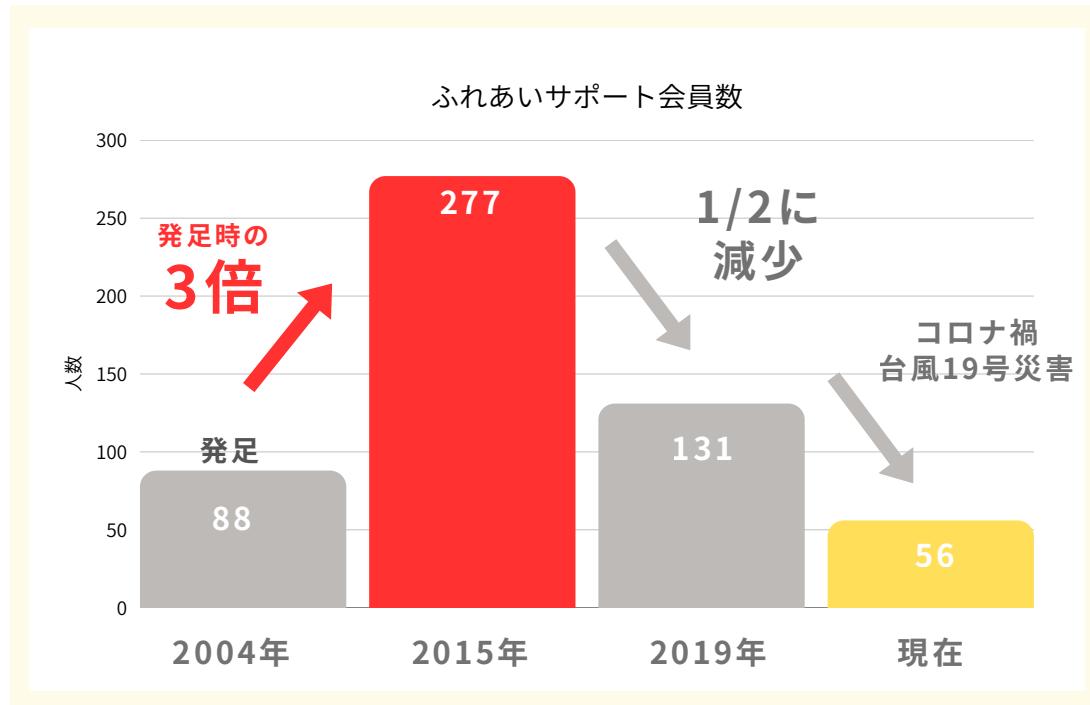
2004年、日常生活の中で生じる「ちょっとした困りごと」を地域の住民同士が支え合って解決する仕組み「ふれあいサポート」を開始。謝礼(目安 1 時間600円)+交通費で、ゴミ出しや掃除等、生活支援を行った。



2024年 ふれあいサポートの継続が難しくなる

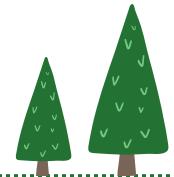


ふれあいサポート発足後、協力会員数は約3倍に増加したが、高齢化や新規加入者の減少により継続が困難となり、2024年にはほぼ活動が止まってしまった。



ふれあいサポートを立て直す新しい仕組みが必要→

ふれあいサポートからプロジェクト化



ふれあいサポート事業の中でも特に需要が高いとされる3種類の項目をプロジェクト化し、それぞれの内容にあわせた支援内容の検討を開始した。

プロジェクトの大分化

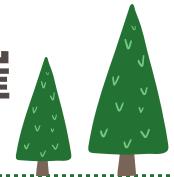
ゴミ出し支援

移動外出支援

ファミリー
サポート

移動外出支援について町内の需要を把握するため
社協主催の意見交換会を開催した→

2025年1月～3月 住民向け 移動外出支援会議を合計2回開催

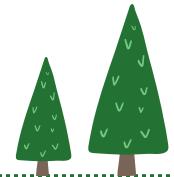


移動外出支援のニーズを把握するため、まず住民向けの移動外出支援会議を開催した。全戸配布で参加者を募ったところ、35名が参加。会議では、普段の生活で不便に感じていることや、移動外出支援を受けた経験など、意見を出し合ってもらい、地域にどのような需要があるのかを確認した。

その結果、げんてる号だけでは移動が難しいこと、個人的に支援を始めている方がいることが明らかになった

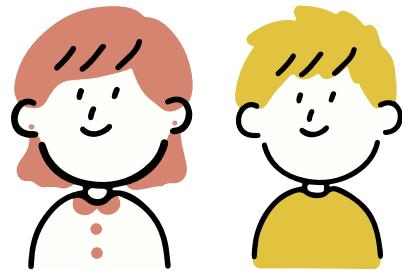


第1回、2回参加者のご意見



支援者からの意見

佐久穂町の地域特性に合ったルールづくりをしてほしい！

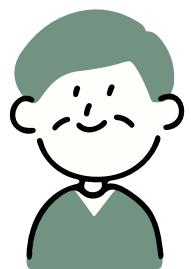


支援を始めたいが、何から始めたら良い？

知り合いへの支援は行っているが、見知らぬ人を自家用車に乗せるには不安がある。支援者と利用者の間に立ち、調整やサポートをしてくれる「コーディネーター」のような存在いたら安心して活動できると思う。

利用者からの意見

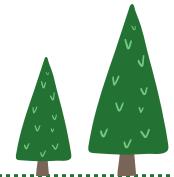
げんてる号が自宅前まで来てくれると助かる（※中型車のため、細い道は入れないという制約あり）



いずれ免許返納した時に支援が欲しい。

利用料が設定されていると、利用者側も遠慮せずに利用しやすくなる。

2025年9月 支援者向け 移動外出支援会議の第3回目を開催



さらに具体的な支援内容を検討するため、**支援者を対象とした第3回目の会議を開催**した。講師に全国移動サービスネットワークの石山さんを招き、移動外出支援を行っている事例や町内で支援活動している方の紹介、グループワークなどを実施した。

●第3回の会議内容●

- ・全国移動サービスネットワーク 石山さんの事例発表
- ・移動外出支援ガイドブックの説明
- ・町内で支援活動している方の紹介
- ・グループワーク

「どのような規約で支援活動したいですか？」



会議の最後に、団体立ち上げに関わってくれる支援者を募ったところ

14名が手を挙げてくれ、団体立ち上げに向けてスタートした

第3回目会議に参加した支援者の想い



01

団体立ち上げに向けて、利用料や保険など、活動に必要な
基本的なルールの整備をしてほしい

→社協が団体立ち上げまでサポートする

02

支援者の9割以上は、実費分をもらって活動したいと考えて
おり、うち半数は謝礼ももらいたい

→団体立ち上げのルールに盛り込む

03

支援内容について、全員が荷物の持ち運びを希望し、うち
6割以上は乗り降り支援も行いたい

→生活支援を含んだ移動外出支援の検討

2025年12月 支援者にて顔合わせ&団体立ち上げ会議



立ち上げに関わってくれる方14名のうち9名が集まり、顔合わせ会と団体立ち上げに向けてのスケジュール作成を行った。

●会議内容●

- ・自己紹介
- ・団体立ち上げのスケジュール作成

2026年1月 団体名決定、規約作り

2026年2月 運転者講習会実施（全国移動サービスネットワーク主催）

2026年4～6月 試運転＆反省会

2026年7月 団体立ち上げ

今後、団体立ち上げに向けて
規約作り、運転者講習会の実施、試運転を行う予定

ボランティア 萩原さんのご紹介



佐久穂町在住、第1回会議から参加。

以前から移動外出支援に興味があり、知人同士で支援を行っていたが、少人数での支援に限界を感じていた矢先、社協主催の会議があることを知り参加した。

■質問コーナー

- ①移動外出支援会議に参加したきっかけは何ですか？
- ②どうして移動支援を行いたいと思いましたか？
- ③活動に向けて大切にしたいことはありますか？
- ④これから課題は何ですか？

ご清聴ありがとうございました。

